

2025年3月15日

公益社団法人日本語教育学会

2024年度日本語教育学会秋季大会  
大会若手優秀発表賞 選考結果報告

1. 選考対象者数<sup>※1</sup>  
10名
2. 授賞者
  - (1) 口頭発表
    - ア. 受賞者：小幡佳菜絵氏（清華大学大学院生）
    - イ. 発表題目：海外継承日本語教育における“Invisible Work”  
—日中国際結婚家庭日本人母親の「葛藤」要因に関する社会言語学的  
—考察—
  - (2) ポスター発表
    - ア. 受賞者：山西智香氏（早稲田大学大学院生）
    - イ. 発表題目：日本人看護師への日本語教育養成についての検討  
—プラチナナースの活用を踏まえて—

※1 大会での筆頭発表者のうち、大会若手優秀発表賞表彰規程で定める「若手」に当たる者（有効期限付き学生証の写しを本会事務局に提出した者）を選考対象といたしました。

<連絡先> 公益社団法人日本語教育学会（大会担当）  
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F  
Email: taikai-office(アットマーク)nkg.or.jp

## 2024年度春季大会 大会若手優秀発表賞授賞者

大会若手優秀発表賞は、春季・秋季の各大会において発表された口頭発表・ポスター発表の発表者のうち、特に優れていると認められた若手の筆頭発表者を表彰するものです。

### 1. 口頭発表

#### (1) 授賞対象者

小幡佳菜絵氏（清華大学大学院生）

#### (2) 発表題目

海外継承日本語教育における“Invisible Work”

— 日中国際結婚家庭日本人母親の「葛藤」要因に関する社会言語学的考察 —

#### (3) 授賞理由

本研究は、年少者海外継承日本語教育について、在北京日中国際結婚家庭の家庭内言語政策・方針（FLP）に着目して行われた研究である。文化的・言語的マイノリティに属する日本人母親たちは、継承日本語教育に携わる際、様々な困難を感じている。こうした努力や葛藤を“Invisible Work”としてとらえ、考察を行った。在北京20年を超える日本人女性4名に対する半構造化インタビューおよび1名のブログが分析の対象となった。

外部からの観察が難しい家庭内の、特に母親の“Invisible Work”に目を向けた点に新規性・独創性が認められたとともに、発表時の態度も高く評価された。今後さらに研究が進むことで、海外における年少者継承日本語教育に資する研究結果が期待できる。これらの点で、本発表は大会若手優秀発表賞にふさわしいものであると判断した。

### 2. ポスター発表

#### (1) 授賞対象者

山西智香氏（早稲田大学大学院生）

#### (2) 発表題目

日本人看護師への日本語教育養成についての検討

— プラチナナースの活用を踏まえて —

#### (3) 授賞理由

本研究は「プラチナナース」（定年退職前後の看護師）に、外国人医療者に対する日本語教育者として活躍していただくためには何が必要かを探るため、6名のプラチナナースに対してインタビューおよび質的分析を行ったものである。その研究目的の新規性が高く評価された。

日本語教育経験があるナースと、そうでないナースの両者を調査対象とし、それぞれについて、日本語を教える際の困難や、必要とする支援がどのようなものかを明らかにするとともに、ナースを専門日本語教育者として養成していくことの意義を示した。このことは、日本語教育分野と医療分野とが連携しての人材育成に対し大きな示唆を与えるものである。これらの点で、本発表は大会若手優秀発表賞にふさわしいものであると判断した。

以上